報道関係各位

2019 年 6 月 21 日

建築倉庫ミュージアム、企画展『構造展 -構造家のデザインと思考-』を開催

～世界初、日本の構造家 50 名の構造デザインと思考プロセスを展示～

会期：2019 年 7 月 20 日（土）～ 10 月 14 日（月･祝）

寺田倉庫（東京都品川区 代表取締役:中野 善壽）が運営する建築倉庫ミュージアムは、2019 年 7 月 20 日（土）から 10 月 14 日（月･祝）まで、企画展『構造展 -構造家のデザインと思考-』を開催します。

日本の有名建築には必ず「建築家」と「構造家」の協働（構造家の存在）があることをご存知でしょうか。構造家は、建築家のイメージする空間を実現すべく、建築家との対話を繰り返しながら構造システムを検討し、意匠･計画･設備･施工の各種与件に対して、技術を応用し、思想を持って構造をデザインします。

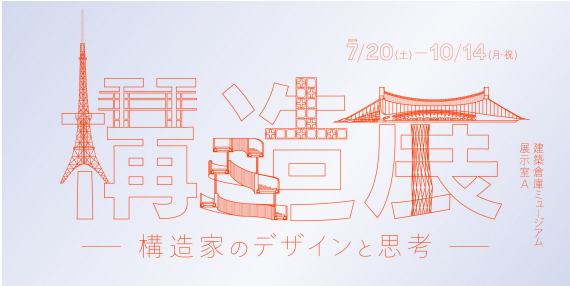
「建築家」と「構造家」の協働の事例としては、建築家 丹下 健三とともに国立代々木競技場（1964 年）を手がけた構造家 坪井 善勝をはじめ、建築家 磯崎 新･伊東 豊雄･妹島 和世作品における佐々木 睦朗、隈 研吾の初期作品を手がけた中田 捷夫、田根 剛作品の構造設計を手がける金田 泰裕など、多くの構造家が日本の名建築を支えています。

本展覧会では、上述を含む 50 名に及ぶ構造家の思考とデザインに焦点をあて、60 作品 70 点以上の「構造システム」「構造デザイン」にまつわる模型や図面、そのプロセスや思考が分かるスケッチや映像などを展示いたします。1950 年代から現代まで、日本の構造家が築いてきた多様な美学や感性を、会場全体を通じて体感できる今までにない展示構成です。

なお、会期中は出展構造家によるギャラリートーク、構造家×建築家をテーマにした様々なイベントも開催予定です。本展詳細ならびにイベント詳細は展覧会サイト（https://archi-depot.com/exhibition/structural_design）にて順次公開いたします。

国立代々木競技場©斎藤公男

【開催概要】



展覧会名：構造展 -構造家のデザインと思考-

会　　期：2019 年 7 月 20 日（土）～ 10 月 14 日（日）

会　　場：建築倉庫ミュージアム 展示室 A

（〒140-0002 東京都品川区東品川 2-6-10）

開館時間：火～日 11 時～19 時（最終入館 18 時）

月曜休館（祝日の場合、翌火曜休館）

＊障害者手帳をお持ちの方とその付添者 1 名は無料。

＊それぞれ入館の際、学生証等の年齢のわかるもの、障害者手帳等をご掲示ください。

入 場 料：一般 3,000 円、大学生/専門学校生 2,000 円、高校生以下 1,000 円

*展示室 B「Wandering Wonder -ここが学ぶ場-」（～10 月 14 日（月・祝））の観覧料含む。

*オンラインチケット制です。詳細は当館公式サイト（https://archi-depot.com/）をご確認ください。

主 催・企画：寺田倉庫 建築倉庫ミュージアム

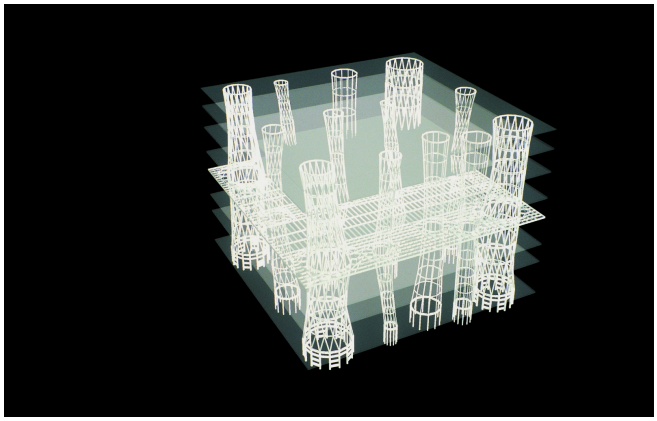
特別協力：斎藤 公男

協　　力：犬飼 基史、津賀 洋輔、瀬尾 憲司、犬飼 としみ、吹野 晃平、川口 貴仁、石田 雄太郎

U　R　L：https://archi-depot.com/exhibition/structural_design

金田泰裕 Todoroki House in Valley
©yasuhirokaneda STRUCTURE

梅沢良三 IRONHOUSE 構造模型©瀬尾憲司



佐々木睦朗_せんだいメディアテーク_アクソメ図
©佐々木睦朗構造計画研究所

大野博史 構造模型©瀬尾憲司

【本展の見どころ】

1．世界初、日本の構造家 50 名の思考とデザインに迫った展示を実施

1950 年代～現代にいたるまでの、日本の構造家 50 名の思考とデザインに迫った世界初の展示を実施。

2．本展覧会のために独自に撮り下ろした、構造家のインタビュー映像を公開

現在活躍する 20 名以上の構造家、それぞれの思考や哲学・美学に迫るインタビュー映像を撮影・制作。

斎藤 公男、中田 捷夫、梅沢 良三、佐々木 睦朗、山辺 豊彦、金箱 温春、徐 光、稲山 正弘、多田 脩二、

金田 充弘、小西 泰孝、名和 研二、満田 衛資、山田 憲明、大野 博史、森部 康司、萩生田 秀之、金田 泰裕 他

3．昭和から平成、令和へ　日本の名建築の構造模型が集結

東京オリンピック「国立代々木競技場」をはじめ、大阪万博「お祭り広場」「富士グループ・パビリオン」、長野冬季オリンピックスピードスケート競技場「エムウェーブ」まで日本を代表する名建築の構造模型 50 点以上が集結。

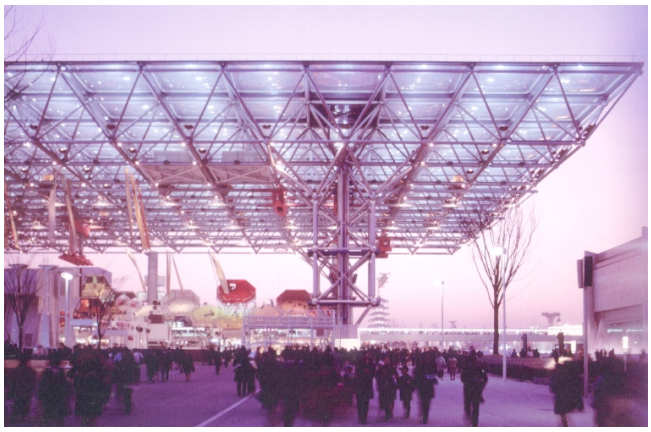
4．構造家の思考プロセスが分かるスケッチや模型を展示

各構造家が持つ哲学や、プロジェクト完成にいたるまでの思考プロセスが伝わるスケッチや模型を本展覧会で公開。

5．構造システム・構造デザインを様々な展示物で体感

会場壁面を使用した構造解析映像、構造システムやディテールが分かる現物モックアップなどの様々な展示物が集

V川口衛　富士グループ・パビリオン
©川口衛構造設計事務所



坪井善勝・川口衛　お祭り広場©神谷宏治

【構造家／主な出展作品】

■内藤 多仲／東京タワー ■武藤 清／霞が関ビルディング ■坪井 善勝／国立代々木競技場
■松井 源吾／東光園 ■木村俊彦／千葉県立中央図書館 ■川口 衞／大阪万博お祭り広場、富士グループ・パビリオン
■斎藤 公男／山口きらら博記念公園多目的ドーム、出雲ドーム ■播 繁／長野市オリンピック記念アリーナ（エムウェーブ）
■中田 捷夫／雲の上のギャラリー ■新谷 眞人 ■梅沢 良三／IRON HOUSE
■金田 勝徳／洗足の連続住宅 ■佐々木 睦朗／せんだいメディアテーク ■山辺 豊彦／正田醤油本社屋
■飯嶋 俊比古 ■今川 憲英／鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム
■金箱 温春／国営昭和記念公園 花みどり文化センター、福井県年縞博物館 ■徐 光／いちとにぶんのいち View
■稲山 正弘／東京大学弥生講堂アネックス ■竹内 徹 ■川口 健一 ■柴田 育秀／Ribbon Chapel
■陶器 浩一／竹の会所 ■池田 昌弘 ■鈴木 啓／えんぱーく（塩尻市市民交流センター）
■多田 脩二／工学院大学弓道場・ボクシング場 ■山脇 克彦／HIGO ■金田 充弘／ぎふメディアコスモス
■小西 泰孝／上州富岡駅 ■佐藤 淳 ■名和 研二／潜水士のためのグラス・ハウス ■萬田 隆
■満田 衛資／カモ井加工紙 mt 新倉庫 ■山田 憲明／大分県立武道スポーツセンター
■大野 博史／Ring Around a Tree ■坪井 宏嗣 ■森部 康司／熊本県立球磨工業高等学校管理棟
■萩生田 秀之／新豊洲ブリリアンランニングスタジアム ■金田 泰裕／Todoroki House in Valley
■株式会社日建設計／ホキ美術館、Ｗ３５０ ■大成建設株式会社／しもきた克雪ドーム 他

【同時開催情報】

建築倉庫ミュージアム展示室 B「Wandering Wonder-ここが学ぶ場-」＊ご好評につき会期延長いたしました。
会期：～2019 年 10 月 14 日(月・祝)
夏休み期間、関連イベントも実施予定です。
イベント詳細は当館公式サイト（https://archi-depot.com/）にて順次公開いたします。

【倉庫見学について】

2019 年 5 月より建築倉庫ミュージアムの、模型保管庫をリニューアルオープンいたしました。ミュージアムにご入館されたお客様には、時間限定で特別に保管倉庫をご覧いただけます。
・当日予約制（先着順） ・タイムスケジュールについては、来館の際にミュージアムにてご確認ください。

【建築倉庫について】

建築倉庫は、建築模型や建築文化の価値を高めることを目的としたプロジェクトです。
■建築倉庫ミュージアム https://archi-depot.com
建築模型に特化した展示施設。2 つの異なる展示室では国内外で活躍する海外・日本人建築家や設計事務所による建築作品のスタディ模型から完成模型までを、会期ごとにテーマをもたせて展示しており、「学ぶ・楽しむ・感動するミュージアム」として模型との新しい出会いを提供します。
■ARCHI-DEPOT ONLINE https://online.archi-depot.com/
建築模型文化・若手の建築家をワールドワイドに紹介することを目的としており、建築模型のポートフォリオ制作・閲覧機能ならびに模型保管機能も備えた世界初の WEB サービスです。

【寺田倉庫について】

社　　名：寺田倉庫（Warehouse TERRADA）

代 表 者：代表取締役 中野 善壽

所 在 地：〒140-0002 東京都品川区東品川 2-6-10

設　　立：1950 年 10 月

U　R　L：http://www.terrada.co.jp/ja/

【本展覧会及び建築倉庫ミュージアムに関するお問い合わせ先】

寺田倉庫 建築倉庫ミュージアム E-MAIL：info@archi-depot.com

【報道関係者お問い合わせ先】

寺田倉庫 広報グループ　E-MAIL： pr@terrada.co.jp